



沼津西ロータリークラブ週報



2007 ～2008 年度
第 17 卷 05 号
2007 年 8 月 3 日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●
心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■
納涼例会

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 769 例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一 会長

私たちロータリーでは、月初めの第一例会に必ず国家を斉唱しております。今日は、その「君が代」についてお話をしてみたいと思います。私は学生の頃、古典が難しくても身につくことがなかったのですが、ある日この君が代について感動的に話された先生の表情が、今でも忘れずにいます。この歌の詩に感銘を受けて今までに機会があるごとに、いろいろの所でお話をしております。

「君が代」とは、直訳するとあなたの一生、または生涯ということになります。即ち「あなた、長生きしてくださいね」ということになります。そして「千代に八千代に」千年も万年も「さざれいしの巖となりて」さざれ石とは雨だれに打たれて、表面がざらざらになった石を言っています。一滴一滴がある硬い石を掘っていく様子を何十年、何百年を想像させております。即ち巖の年月ほど長生きの表現です。巖とは大きな石と云う意味です。何十年、何百年の積み重ねを大きな石に、譬えたのだらうと思うわけです。そして「苔のむすうまでも」ここで云う苔は、湿り気の多い地面につく苔で、群生すると鮮やかなグリーンのじゅうたんを敷いたように生えてくるものを云っています。その表面を指で分け開いてみると一本一本が、針よりも細い茎をした苔が無数に生えております。という事は、苔の数ほど、数えることの出来ないほど長生きしてくださいねと、詠んだ詩であったわけです。

「苔の生すまで」の解釈で歌われていますが、私は無数を思い浮かべ歌っております。

平安中期のころの歌集に、君が代の歌詞と同じものがあるようです。しかしそれ以前にも君が代の書き下しのものがあって、作者は不詳のようです。

明治26年、小学校の祝祭日の儀式用唱歌として公布され、以後わが国の治世を祝った国歌として歌われて来たようです。現在に至って教育の現場では、歌うことを奨励する側と、拒否する側で悲しい事件も起きております。このうたを詠んだ作者の想いを伝えることが出来るならば、争いなど無縁でありましょう。いずれにせよ、人を想う豊かな表現に何のためらいもなく、いつも声を大にして歌っております。

8月のプログラム	
770回	12:30 クラブ協議会
8月09日(木)	前年度事業・決算報告 理事会
8月16日(木)	裁量休会
771回	12:30 クラブ協議会
8月23日(木)	ガバナー補佐来訪
772回	12:30 卓話 会員増強委員会
8月30日(木)	

●ピジター

(8月2日にブケ東海にて、記帳された方)

1. 千葉慎二様：三島西RC
2. 山口和也様：沼津北RC
3. 内田文喬様：沼津北RC

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	大久保豊和

出席委員会報告

★出席報告（会員総数 26 名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
769回	24名	17名	-	70.83%
767回	25名	17名	1名	72.00%

●欠席者（7名）

森 茂美、本村文一、名古屋輔、西山幸三郎、大久保豊和、鈴木泰次、鈴木良則

●他クラブへの出席者（2名）

渡辺亀一（7/22 地区財団セミナー）

杉山 了（8/3 山梨石和RC：石和ホテル八田：ガバナー公式訪問同行）

●スマイル報告

1.M&Aテーブル：テーブル会残金です。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①長泉ロータリークラブ

8月15日（水）特別休会（メーキャップはできません。）

・本年度より、米山梅吉記念館は8月13日14日15日が休館となります。

②三島ロータリークラブ

8月15日（水）特別休会

8月29日（水）→25日（土）夏の家族会
淡島マリンパーク

③伊豆中央ロータリークラブ

8月07日（火）→3日（金）花火例会

8月14日（火）特別休会

④三島南ロータリークラブ

8月10日（金）→9日（木）ガバナー公式訪問

於：三島グランドホテル、三島西クラブとの合同例会

8月17日（金）特別休会

8月24日（金）→26日（日）夏の家族会

・会報の送付は致さない事になりました。ホームページに掲載しております。

<http://www.mishima-south-rc.gr.jp/>

⑤三島西ロータリークラブ

8月09日（木）ガバナー公式訪問

例会場・例会時間変更

8月16日（木）特別休会

2. 報告・連絡事項

①次週は例会後理事会があります。理事、SAA及びプログラム委員長はよろしくお願ひします。

②「会員増強・維持セミナー」が8月4日（土）静岡市「クーポール会館」にて開催されます。出席対象の後藤昭会員増強委員長はよろしくお願ひします。

③新潟県中越沖地震の義援金のご協力ありがとうございました。24,000円ガバナー事務所に送金しました。

納涼会

納涼例会暑気払い風景



編集後記

7月25日未明より8月1日まで急病で入院致しました。

大変暑い日が続きます。皆様には、お体を大切になさってください。（大久保）



沼津西ロータリークラブ週報



2007 ～2008 年度
第 17 卷 06 号
2007 年 8 月 9 日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●
心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■
クラブ協議会 前年度事業・決算報告

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 770 例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一 会長

ここ数年、円キャリーという言葉をよく聞きます。特に最近よく目にする活字です。日本の低金利政策が、これからも続くと思われた投資家が、円借り(円キャリー)取引することが注目を集めております。低金利の円資金を借りて、海外の高金利証券などで運用する手法です。

日本の景気を支える為にとられた、金融緩和、量的金融緩和に0金利政策まで飛び出したその副産物が、円キャリートレードと言っても良いように思うわけです。そのほとんどがヘッジファンドによる取引で有名です。その影響を受けて円安ドル高、円安ユーロ高となり国際的に展開する日本企業に、大きな利益をもたらした訳です。巨額の資金を運用するヘッジファンドは、その大きな役目をしている事になります。

かつて日本は巨額の円売りドル買いを行いました。為替介入で積みあがった外貨準備が110兆円とも云われております。これも円安要因です。メガバンク1行の総資産に匹敵する、この巨額の資金を運用している所が外国為替資金特別会計です。ここでも円を外貨に換えて、日本より金利の高い米国債で運用しています。これが円キャリー取引といわれる由縁だそうです。昨年中国に抜かれるまで長らく世界一を続けてきました外貨準備、売るに売れないこの巨額資金の運用をめぐる、特別会計の見直し論のひとつに上げられているわけです。

円安要因は、これだけではありません。日本の家

計資産が1500兆円に達したと云われて居ります。仮にこの巨大資金の1パーセントを外貨に換えて運用したとするならば、15兆円の為替介入と同じことになるわけです。この運用が近年着実に増加していると云われております。

日本は、このところ3年余り為替介入を行っていません。「脱介入」でやっと先進国の仲間入りが出来たとしております。しかし、過去の介入の遺産である外貨準備を、どの様に扱っていくのか答えは出しておりません。

8月のプログラム	
771回	12:30 クラブ協議会
8月23日(木)	ガバナー補佐来訪
772回	12:30 卓話 会員増強委員会
8月30日(木)	
9月のプログラム	
773回	12:30 クラブフォーラム CLP 検討委員会
9月06日(木)	
774回	12:30 会員卓話 イニシエーション
9月13日(木)	スピーチ他 理事会
775回	18:30 クラブフォーラム CLP 検討委員会
9月20日(木)	夜間例会
776回	12:30 外部卓話 新世代委員会
9月27日(木)	

●ビジター

1. 影山桓善様：沼津北RC

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	大久保豊和

★出席報告（会員総数 26 名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
770回	24名	18名	-	75.00%
768回	25名	23名	0名	92.00%

●欠席者（6名）

久松 但、宮口雅仁、森 茂美、本村文一、
西島邦彦、芹澤貞治

●他クラブへの出席者（2名）

鈴木良則（8/4 米山記念館）
芹澤貞治（8/6 沼津柿田川RC）

●スマイル報告

- 井上武雄：結婚記念日のお祝いありがとうございます。所用につき、早退させていただきます。
- 鈴木泰次：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
- 鈴木良則：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

- 沼津北ロータリークラブ
8月14日（火） 裁量休会
- 富士ロータリークラブ
8月15日（水） 特別休会
- 新富士ロータリークラブ
8月14日（火） 特別休会
- 吉原ロータリークラブ
8月16日（木） 特別休会 メーキャップは行ないません。

2. 報告・連絡事項

- 「地区大会実行委員会事務局」開設のお知らせ
 - 地区大会事務局 事務局員：田中尚美
 - 〒410-0801 沼津市大手町1-2-1 フォーラム壺番館4F
 - 沼津北ロータリークラブ内
 - ・Tel 055-963-5650 Fax 055-963-1970
 - MAIL 07-08chikutaikai@ri2620.gr.jp

年次活動報告総括（栗原侑男 前会長）

■クラブ奉仕委員会、渡辺亀一君

7委員会の統括有り難うございました。今年度の会長期待いたします。頑張ってください。

■プログラム委員会 杉山 了君

一度も休むことなく努めて頂きました。年度始めには急な変更などお願い致しましたがすべてを消化して頂き、そしてスムーズな例会進行をして頂きました、感謝いたします。

■出席委員会 鈴木泰次君

食事の手配など有り難うございました。無駄が少なかつたと思います。無断欠席は極力避けたいと思います。

■会報委員会 坂部利夫君

期日までに確実に発行するのも大変な部署だと思います、ご苦労様でした。負担を軽くするための、習熟する人を増やすには、CLPの導入すると委員会がへるようですので解決ができるのでしょうか。

■広報雑誌委員会 本村文一君

色々新聞社などへの連絡などの手配有り難うございました。

■親睦活動委員会 芹澤貞治君

今年度、年間計画が多い中、すべてを計画どうりに消化して頂き有り難うございました。

■会員増強・選考・職業分類委員会 森 茂美君

会員増強は永遠のテーマかと思います。これからも皆さん一人が一人の会員候補者の紹介を考えて頂きたいと思います。

■ロータリー情報委員会 後藤 昭君

私も今年度委員長です、見習っていきます。

■職業奉仕委員会 土佐通孝君

外部卓話有り難うございました。委員長を離れても良い情報があれば、今年度、久松委員長に引き継いで頂きたいと思います。

■社会奉仕委員会 井上武雄君

毎年恒例になっている、千本浜遊歩道清掃、クリスマス例会でのバザー、鯉の放流等、私は継続することに意義があると思います。有り難うございました。

■国際奉仕委員会 宮口雅仁君

心構えも無いのに、急遽委員長を引き受けて頂きました。

■新世代委員会 鈴木博行君

外部卓話など有り難うございました、

■ロータリー財団委員会、米山委員会 大村保二君

渡辺パストガバナーの財団についての卓話など有り難うございました。

■SAA 大久保豊和君

二ヶ月に一度、親睦のための座席変更ご苦労様でした。

■会計 植松 正君

少ない予算の中で突発的な出費などをお願いをしたり、無理なお願いを致しました。素早い対応ありがとうございました。ご苦労様でした。



お盆も終わるが、猛暑が続いている。19日（日）には曇りや雨の予報で、以降、気温は下がっていくとのこと。信じ難い。彼岸まで気を許さずに対峙せねばと思う。

19日のゴルフの月例は体力が持つかと心配している。病後のせいもあるが、いよいよ、老人の域。

(大久保)

理事会報告

1. 協議事項

①9月プログラム クラブ奉仕委員長 鈴木 泰次君、プログラム委員長 土佐 通孝君
・プログラム委員会の原案どおりとする

②9～10月の座席表について クラブ奉仕委員長 鈴木 泰次君、SAA 大村 保二君
・誕生月順とする。

③杉山親睦委員長の休会に伴う委員長業務について
・坂部副委員長も休会中のため、鈴木泰次クラブ奉仕委員長が委員長代行を務める。

以上①～③を一括承認

----- 7月分出席一覧 -----

後藤 (3)	久松 (3, 1)	井上 (④) +2	栗原 (④)	宮島 (④)	宮口 (3)	森 茂 (3)
本村 (3)	名古 (④)	西島 (3)	西山 (3)	大久保 (1)	大村 (3)	坂部 (-)
佐野 (2,1)	芹澤貞 (④) +1	芹澤和 (④)	杉山了 (④) +1	杉山壽 (3)	鈴木博 (④)	鈴木泰 (④)
鈴木良 (2,1)	土佐 (3,1)	植松 (④) +1	渡辺 (④) +1	吉川 (3) +1		
			例会出席%	82.00%	地区報告%	86.00%

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



沼津西ロータリークラブ週報



2007 ～2008 年度
第 17 巻 07 号
2007 年 8 月 23 日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●
心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■
クラブ協議会 ガバナー補佐来訪

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 771 例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一 会長

皆様こんにちは、今日は第3分区のガバナー補佐、木内久仁彦様、事務局の伊藤博様に公式訪問をしていただいております。木内さん、伊藤さん、遠いところより誠にありがとう御座います。後ほど行われます当クラブのクラブ協議会には、ご指導のほどよろしく申し上げます。

先月、三島で行われました、ロータリー財団セミナーに参加して参りました限られた時間で御座いますが、ご報告方々お話ししてみたいと思います。ガバナーの開会挨拶の中で、ロータリーはトップダウンではなくボトムアップであると話されました。即ち皆様方がいろいろ計画または、おやりになった事をロータリーに上げて行くと云う考えでありますので、ご理解してご活躍していただきたいと申されました。

次にロータリー財団の概要を財団副委員長の大変分かりやすい説明から始まりまして、そして私達の寄付金が、どのような形に運用され生かされているか、またクラブで参画できる財団プログラムについて、そして組織や寄付の目的など説明を加えてお話されました。寄付が目的ではありません。プログラムを支える為の資金として、私たちはその目的を果たしているわけです。ロータリー財団の組織と国際ロータリーの組織は別々の法人としてアメリカに届けられております。そして財団を構成する会員は国際ロータリーの会員のみであります。よって正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」と云うこととなります。法的には組織は違っていますが、その目的・使命・活動は一体のものであります。

まとめて見ますとロータリー財団の使命は、地域レベルから国際レベルの活動を通じて、国際ロータリーを支援することにあります。

ロータリー財団の使命は2000年2月に改訂されて地域レベル、全国レベルと云う内容が加わりまして、現在私たちが地区補助金を使った奉仕活動ができるようになった訳です。その前までは国際レベルの奉仕活動のみでした。

恒久基金の運用収益の50%及び年次寄付の50%（3年後）が、地区財団活動資金として戻ってくるわけですから、これを大いに活用したロータリー活動にして行かなければならないと思う次第です。

8月のプログラム	
772回	12:30 卓話 会員増強委員会
8月30日(木)	
9月のプログラム	
773回	12:30 クラブフォーラム CLP 検討委員会
9月06日(木)	
774回	12:30 会員卓話 イニシエーションスピーチ他 理事会
9月13日(木)	
775回	18:30 クラブフォーラム CLP 検討委員会 夜間例会
9月20日(木)	
776回	12:30 外部卓話 新世代委員会
9月27日(木)	

●ゲスト

1. 木内 久仁彦様：RI2620地区静岡第3分区ガバナー補佐
2. 伊藤 博様：RI2620地区静岡第3分区ガバナー補佐事務局

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	大久保豊和

出席委員会報告

★出席報告（会員総数 26 名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
771回	24名	19名	-	79.17%
769回	24名	17名	1名	75.00%

●欠席者（5名）

久松 但、土佐通孝、佐野 稔、宮口雅仁、鈴木博行

●他クラブへの出席者（2名）

久松 但、土佐通孝（8/20 沼津柿田川RC）

●スマイル報告

1. 名古屋良輔：誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 杉山 了：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
3. 鈴木良則：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①長泉ロータリークラブ

8月22日（水）裾野RC合同例会 ガバナー公式訪問 於：松富

②沼津柿田川ロータリークラブ

9月 3日（月）→7日（金）新入会員歓迎会および創立記念例会

9月 17日（月） 休会（敬老の日）

9月 24日（月） 休会（秋分の日振替）

③富士宮ロータリークラブ

9月03日（月）お月見例会 例会場 コラボ 18:30～

9月17日（月） 休会

9月24日（月） 休会

2. 報告・連絡事項

①米山梅吉記念館秋季例祭の青表紙を、各テーブルに置きます。記入をお願いします。

卓 話

木内久仁彦ガバナー補佐

沼津西ロータリークラブ期首公式訪問



こんにちはRI2620地区静岡第3分区ガバナー補佐木内久仁彦です。所属は富士宮RCです。職業分類は印刷です。ロータリー歴は23年です。名古屋前ガバナー補佐の様にうまくいくかどうかわかりませんが、平和で楽しい1年であることを願っています。

2007～2008年 ウィルフリッドJ. ウイルキンソンRI会長のテーマは「ロータリーは分かちあいの心」です。

ロータリーの真髄は分かちあいにあると感じていたからです。毎日、それぞれのクラブで、ロータリアンたちは数え切れないほどの方法で、ほかの人々と分かちあっています。時間を、才能を、資産を、分かちあっています。私達の優しさと愛を分かち合っているのだと言われていました。120万人の会員の間に通う一本の強力な糸が存在するとすれば、それは「分かちあい」という名の精神でできた糸ですと言われていました。

ロータリーの友、クラブ計画書等色々な所にRI会長のテーマが詳しく載っておりますのでよく読んでください。そして実証する一年間にしていきたいと思います。

RI第2620地区道部兼ガバナーのテーマは「情熱と行動」です。

そして地区目標が6つあります。その他に、

1. 少人数クラブのケア
 2. CLPプログラムの浸透
 3. 奉仕プロジェクトの人の活性化
 4. 各種寄付の100%達成のお願い
 5. IT化の促進
- の5つがあります。

会員各位がロータリーに情熱を持ち続けてください。そして行動を起こしてくださいと言っています。ガバナー月信7月No. 1に詳しく載っていますので読んでいただきたいと思います。

分区といたしましては、CLPは現在5クラブ行って

いますが、次年度には9クラブ全てで行っているようお願いしたいと思っております。

富士宮RCも昨年11月私がガバナー補佐に決まりましたから急遽CLPの動きが早まり、数ヶ月でまとめ本年度から行っています。

第2620地区では、井上パストガバナー年度ではじめ、道部ガバナー年度で広め、牧野ガバナーエレクト年度で第2620地区全クラブでCLPが行われているようにしたいという強い願いがありますが、本年度CLPに挑戦して下さい。

国際奉仕の青少年交換事業は全国的に行っているクラブが少なくなっています。第2620地区でもかなり減少しています。以前は30人ありましたが、20人になり、前年度はひとけたになっています。地区ではなんとか続けたいという事から、分区で青少年交換が出来ないかという要請があり、分区の会長・幹事会を開きまして長時間検討した結果、この事業がロータリー活動として世界的規模での友好と平和の推進、地域社会に与えるインパクト、そして自クラブの活性化にとっても大変有用なものであると認識し、本年度は次のようにやりましょうという事になりました。

- ・今回の沼津RC青少年交換事業に対し分区の各クラブは1000円／1人を支援する。
- ・07-08年度はIMの登録料を1000円切り詰めその財源に充てる。
- ・交換事業の有効性を認識し、今後分区内のクラブが青少年交換事業を行う場合も同様な扱いで協力していく。
- ・支援を受けたクラブは他クラブに対し交換学生を例会時に紹介する等、分区を挙げての支援に答えなければならない。

以上、まだまだ細かいことはこれから決めていきますのでよろしく申し上げます。

最後になりますが、IMは2008年3月2日（日）に富士宮RCがホストで富士宮で行います。楽しい企画を考えていますので多数の参加をお願いします。

クラブ協議会

クラブ協議会～カバナー補佐公式訪問 2007-2008年度年次計画

本日のクラブ協議会は、木内カバナー補佐をお迎えし、当クラブの年次計画に対して講評をいただき

ました。

はじめに渡辺会長よりクラブ方針について説明。それからクラブ奉仕委員会をはじめ各委員会の委員長より年次計画について報告。この報告を踏まえ木内カバナー補佐から、以下のようなアドバイスや激励をいただきました。

[主な発言内容]

- ・CLPについては是非来年度にいられていただきたい。
- ・会員増強・選考については、ただ入りたいという人を入れればよいものではなく、ロータリーを理解してくれる人を入会させて欲しい。
- ・当クラブからも財団や米山委員会で奨学生を出すことを検討していただきたい。

(幹事 植松 正 記)



編集後記

残暑が続いている。東京へ行くと、駅のホームの上は、特に蒸し暑い。電車や駅ビルの冷房のせいだろうと思う。沼津の環境と比較して感じる場所は明らかに異常である。

編集者は、東京モードの暑さで頭がボーッとして何回やってもOpen Officeが憶えられずに、今度は宮島会報委員長のお世話になっている。(大久保)



沼津西ロータリークラブ週報



2007 ～2008 年度
第 17 卷 08 号
2007 年 8 月 30 日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●
心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■
卓話 会員増強委員会, イニシエーションスピーチ

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 772 例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一 会長

今年の夏は記録的な猛暑となりましたが、この所
だいぶ涼しくなりました。夏の疲れがこのころ出る
といわれますので、ご家族を含めお体のほうをご自
愛して頂きたいと思ひます。

9月1日は防災訓練の日です。毎年、各地で災害
に備えて大掛かりな訓練が行われております。阪神
淡路大震災からここ数年、日本海側に大きな地震が
たびたび発生しておりますので、今年の訓練は意識
も高めた訓練になるかと思ひます。

私達のこの地も東海地震、駿河湾地震と 30 数年
前から起こる可能性がさげばれておりますので、非
常に心配をしております。「備えあれば憂いなし」
ということわざがありますが、日ごろから想定した
心の準備は必要かと思ひます。その為には、先ず自
分の置かれている場所の熟知、どこが安全かどのよ
うに避難するか決めておくことも大事です。場所の
熟知と申しましたが、どこで遭遇するか全く予知出
来ません、しかし環境は共通点が沢山ありますので、
日ごろ描いている手順は緊急時の反応に大いに役立
つと考えられます。

近年起きた地震で木造建物がねじれ現象による被
害が多く見られます。それには2階部分は壁も多く
て窓もバランスよく配置されておりますが、それを
支える1階部分は壁量も少なく、南面は採光を良く
するために窓開口を大きくとって、壁の部分と窓を
設ける部分のバランスが非常に悪い、こうした建物
は1階部分で倒壊しております。

木造に限らず商業ビルでも同じ現象が起きており
ます。鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造に於いても、
ねじれ振動による倒壊が起こっております。利便性
からどうしても道路に面した部分は、人の出入り、
車の出入り、お客の出入りで壁を設けることが出来
ません。ねじれ振動はこの開口部が受ける形となっ
て、ほとんど道路側に倒壊しております。設計不良
や施工不良で倒壊した建物も多くありますので、そ
うした意識を持っていたとしても安心出来ることでは
御座いませんが、1つでも多くの情報を持っている
ことが、大切であろうと思う次第です。

9月のプログラム		
773回	12:30	クラブフォーラム CLP 検討委
9月06日(木)		員会
774回	12:30	会員卓話 イニシエーションス
9月13日(木)		ピーチ他 理事会
775回	18:30	クラブフォーラム CLP 検討委
9月20日(木)		員会 夜間例会
776回	12:30	外部卓話 新世代委員会
9月27日(木)		

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	大久保豊和

★出席報告（会員総数 26 名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
772回	24名	23名	-	95.83%
770回	24名	18名	2名	88.33%

●欠席者（1名）

森 茂美

●他クラブへの出席者（3名）

鈴木博行、杉山 了、渡辺亀一（8/28 沼津北RC）

●スマイル報告

1. 佐野 稔：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。所用につき、早退させていただきます。
2. 鈴木良則：9/15の米山梅吉記念館秋季例祭にご参加下さい。

幹事報告

1. 報告・連絡事項

①国際ロータリーより

9月1日より、ロータリーレートは1ドル116円になります。

②下記日程にて沼津4クラブ合同コンペが開催されます。

後日あらためて参加者を募集いたしますので、多数のお申し込みをお願いします。

日時：10月14日（日） 午前9時集合

場所：ザ ナショナルカントリー倶楽部
（富士宮市北山）

会費：5,000円

（プレー代+食事代は別途20千円程度）



後藤会員増強委員会委員長卓話

会員増強委員会委員長の後藤です。8月4日（土）に静岡市の「クーポール会館」で午後1時30分より今年度の「会員増強・維持セミナー」が行われた。

茅ヶ崎RCの松宮さんによる基調講演が行われた。題目は「RC入会について一人一人が目的意識の再認識を」で要点は

- 1、知り合いを多く得られる
- 2、視野を広くすることが出来る
- 3、社会に貢献できる機会がある
- 4、ビジネスチャンスが広がる
- 5、サービスの精神が職業につながる
- 6、国際社会に貢献できる
- 7、卓話等を通じて言葉の訓練になる 等々

また、「自身がRCを楽しむ工夫をし、RCが全てではないことも知ってもらい、IM・地区大会などで幅広くRCの知識を吸収しよう」と、述べられた。会員増強も大事だが、出口をしっかりすることも重要と感じた講演だった。

続いて「会員増強・維持フォーラムディスカッション」の分科会が4テーブルに分かれ行われた。私のテーブルは（会員数30人以下のクラブ）に配属され、「小人数クラブの悩み」というテーマであった。分科会の参加クラブは19クラブあり、一番の少人数クラブは網代多賀RCの4名で少人数なりの工夫でうまく行くRCなどの話しは勇気を与えた感じだ。

引き続き「懇親会」が行われたが、中でも出席率変更の話題が多かったように思う。変更に伴い忙しい現状を考えると、「入会者が参加し易いことにな

る」、との意見もあったが、大半は否定する意見が多いかな、と、感じた。否定側の話の要点は、「会員の減少で奉仕活動が十分に行うことが困難になる」との意見が出た。「会員の増強と楽しいクラブ作りがRCを支えることになる」、とのセミナーの要点の話だが、出席率の変更がなぜ今必要なのか、詳しい説明が聞けないように感じた。また、数字のみで考えると、全ての会員が最低の出席率の場合、計算上は月に1回会えるか否かであり、これで本当に楽しいクラブが作れるのかな、と、複雑な感じを持った。

イニシエーション・スピーチ 西島邦彦君



企業人としていろいろな仕事を経験してきた中で特に印象に残っているITの仕事についてお話をさせていただきます。

私がインターネットの仕事に従事したのは平成12年9月でした。当時、NTTはインターネットの接続回線としてISDN回線を普及させており、俗に言う「ナローバンド」、64 k b p sの低速のインターネットが主流で「遅い」「繋がらない」が合い言葉のようになっていました。又、一企業の独占による高い通信料が相まってインターネットの普及率は15～16%と先進主要国の中で最低レベルにありアジア、太平洋地域でも遅れを取る状況でした。

平成12年11月政府が「IT戦略会議」を設立しこれ以降インターネットの環境は大きく変化しました。目的は日本が引き続き経済的に繁栄し更に豊かな生活を実現する為にはIT革命への早急な取組みが不可欠であり、その為の法整備・インフラ整備などの国家基盤の確立を早急に行う。

5年以内に超高速アクセス（目安として30～100 M b p s）が可能な世界最高水準のインターネット網の整備を促進することにより、必要とする全ての

国民がこれを低廉な料金で利用できるようにする。

（3,000万世帯が高速インターネットアクセス網に、また1,000万世帯が超高速インターネットアクセス網に常時接続可能な環境を整備する。）でした。

平成19年3月のインターネット普及率は50.9%接続料金も2,938円/月と世界で最も低廉な料金になっています。普及率こそ初期の目的には達していませんが料金は見事に達成しています。

先の国家戦略がもたらした成果ですが、私はもうひとつ「YAHOO」孫正義氏の存在が大きいと考えています。静岡県内では競合関係でシェア争いをしていましたが、「YAHOO」の強引なまでの規制緩和へのアプローチがなければ今の価格は実現できなかったでしょう。

現在、弊社は孫正義氏のソフトバンクと提携して携帯事業に取り組んでいます。携帯料金はまだまだ世界水準に達していません。近い将来世界で一番低廉な料金で携帯電話が使える日が来ることを願っています。

臨時理事会

1. 協議事項

①入院中の杉山壽章君へ見舞金を支給したい件
当クラブ運営規定第6条に基づき、見舞金1万円を支給する。

②米山梅吉記念館より寄付の要請あった件
下記金額を特別会費の臨時支出として認める。

100円募金・・・	100円×26名＝	2,600円
賛助会費・・・	3,000円×26名＝	78,000円
合計		80,600円

編集後記

後藤会員増強委員会委員長の卓話のなかで、新会員に対するロータリー活動へのきめ細かい上手な導き方が、ロータリーの魅力を新会員に植え付けていくとの件があり、当にそうであろうと共感した。真にロータリー的な親睦も、会員の個々に展開する職業奉仕のあるべきシナジーも、何事も一朝一夕には出来ない。背後にあるべきものは奉仕への強い永続的な「情熱」か？

大変だ。（大久保）